

## 新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案) 各部会検討状況について

	【しごと】雇用創出・魅力発信部会	【ひと】少子化対策部会	【まち】安心暮らし部会
基本目標	新たな産業集積による雇用創出 創造交流都市としての拠点性を活かした交流人口の拡大	ライフステージを通じた一貫した支援による少子化の克服	地域力・市民力を活かした誰もが安心して暮らせるまちにする
数値目標	(1) 5年後の県外からの社会動態数(転入-転出) ●●人以上 (2) 5年間で観光入込客数●●●(人or%), 宿泊者数●●●(人or%)増加	(1) 理想の子どもの人数と実際にもつもりの子どもの人数の差 ●●人 (2) 出生数 5年間で●●人 (3) 男性の育児休業取得率 ●●% (4) 年次有給休暇取得率 ●●% (5) 合計特殊出生率 5年後に●●%	(1) 地域の人たちとつながりが強いと思う人の割合 ●●% (2) 1日60分くらい体を動かす生活を実践している者の割合 ●●% (3) 移動手段での公共交通(バス)分担率 ●●%増加 (4) まちなか(都心)での歩行者数 ●●%増加
基本的方向	○ 機械・金属加工業を中心に関連産業の裾野が広い航空機産業や、農業と食産業の一体的発展をはかるニューフードバレー。そして農業の可能性を最大限に活用した12次産業化の取組など、本市の特性を生かした成長産業の育成を図るとともに、内発型産業の高度化支援や優良企業の誘致、都市の活力を生み出す創業の支援を通じて、雇用の場の確保・創出を図ります。  ○ 地域社会の活力を維持向上していくために、新潟暮らしの素晴らしさを広く発信して、特に若年層の人口流出を抑え、人口流入を促進する取り組みに加え、仕事を求める女性や若者がそれぞれにふさわしい働き方のできるよう支援します。  ○ 古くは北前船の寄港地であるとともに開港五港の一つとして、また現在も空路・新幹線・高速道路といった高速交通網の結節点である地の利を活かし、国内外からの交流人口を拡大するとともに、「2019年開港150周年」や「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会」を契機に、本市の魅力の情報発信を行い、観光誘客やMICE誘致の推進と併せ、文化・スポーツコミッション活動による文化・スポーツイベント等の誘致も図ることで、多様な来訪者の獲得を図ります。	○ 子どもたちがシビックプライド(地域への愛着と誇り)を持つとともに、進学・就職のタイミングでの若者の流出を抑制し、流入を増やします。  ○ 若い世代が希望どおりに結婚し希望する人数の子どもを産み育てられるように、子どもは社会の宝であるとの認識を地域や企業と共有し、地域力・市民力を結集し、連携します。  ○ 企業と連携し、意識の啓発を進め、仕事と家庭生活や地域活動などを両立することができ、男女がともに健康で充実した生活をおくれます。	○ 多世代が集い交流できる場を確保し、地域の絆のなかで、誰もが心豊かに生活できる環境を作ります。  ○ まちなか・田園集落・川辺など、新潟独自の魅力を活かした多様な住まい方を提案し、ライフスタイルにあわせた生活が選択できる環境を作ります。  ○ 健幸都市づくり(スマートウエルネスシティ)を推進し、新潟の四季の豊かさや歴史・文化を感じながら、健康で楽しい長寿生活を過ごせる環境を作ります。  ○ 多核連携型の都市構造を支える公共交通の強化など、交通ネットワークの形成とその活用により、マイカーに頼らない住みやすい環境を作ります。  ○ 湊町の歴史・文化が感じられるまちの魅力づくりや都心の再生を進め、まちなかへと人が向かう環境を作ります。
具体的な施策 ※ア～エの施策は複数の施策により構成	(ア) 産業振興を通じた雇用の受け皿づくり ① 成長産業をはじめとした企業立地の促進と中小企業の育成・支援 ② 新たな可能性を切り拓く、農業や食品産業の成長産業化の促進 ③ 創業・起業の支援  (イ) Uターン促進の環境づくり ① 新潟暮らしの魅力発信 ② 女性や若者の就労支援 ③ 移住・定住に向けた支援  (ウ) 多様な来訪者の獲得 ① 本市の文化や地域に根ざした魅力を国内外に発信 ② 国内外の来訪者に向けた受け入れ態勢の整備と本市ならではのプログラム提供 ③ 優れた拠点性と独自の魅力を活かした交流の推進	(ア) 新潟らしい教育の推進 ① 自分の力に自信をもち心豊かな子どもを育む学校教育 ② 創造力と人間力を高める生涯学習の推進 ③ 新潟らしい教育の推進・自立し開かれた学びの支援  (イ) 新潟市内の大学等の魅力向上を図る ① 大学の魅力向上を図り、本市内大学への進学を促進 ② 本市内大学等への進学にインセンティブを付与し、進学時の転出を抑制し、転入を促進 ③ 就職活動時から就職時までの一貫した支援により、新潟市内での就職を促進  (ウ) 出会いの場づくりから結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 ① 地元での結婚に関する啓発による婚姻率の向上 ② 子どもたちを安心して産み育てられるよう、切れ目のない支援の実施(新潟市版ネウボラ)  (エ) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進(働き方の改革) ① ワーク・ライフ・バランスの推進を経済界に要請、また優良企業の認定・表彰などを通じて、企業における仕事と家庭の両立支援を促進 ② 女性の活躍を促進 ③ 男性の家事・育児参加を促進	(ア) 地域資源を活用し、多様な生活環境を選択できる暮らし ① 地方移住の推進 ② 高齢者を地域で支える仕組みづくり ③ 障がいのある人などが地域で自立した生活を送るための支援 ④ 市民生活での安心・安全の確保 ⑤ 地方都市における経済・生活圏の形成  (イ) 新バスシステムにより、マイカーだけに頼らない持続可能な公共交通のある暮らし ① 快適に移動できるまちづくり ② 健幸都市づくり(スマートウエルネスシティ)の推進 ③ 持続可能な公共交通体系の構築  (ウ) 湊町の歴史や文化を感じながら、魅力的なまちなかのある暮らし ① まちなか再生・都心軸の明確化 ② 地域の個性、歴史、文化に根ざしたまちづくり ③ 多文化共生の推進
施策を検討する上でのキーワード	・航空機産業 ・ニューフードバレー ・12次産業化 ・2019年開港150周年 ・2020年オリンピック・パラリンピック東京大会 など	・新潟らしい教育 ・若者の新しい人の流れ ・切れ目のない支援 ・ワーク・ライフ・バランス など	・移住(二地域居住) ・健康づくり ・コミュニティ ・公共交通 ・まちなか再生 など